

平戸市総合戦略骨子案

CONTENT

第1章 基本的な考え方	2
1 計画策定の背景	2
2 計画策定の趣旨・目的	3
3 総合戦略の位置づけ	3
4 計画の期間	3
5 計画人口	4
6 計画の基本目標	4
第2章 施策の方向性	6
基本目標1 雇用促進	7
基本目標2 産業振興	11
基本目標3 子育て支援	15
基本目標4 定住・移住	20
第3章 計画の推進	25
1 推進体制	25
2 国・県・近隣市町村との連携	25
3 効果検証の仕組み（P D C Aサイクル）	25

第1章 基本的な考え方

1 計画策定の背景

平成 26 年 9 月

国がまち・ひと・しごと創生本部を設置

人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、まち・ひと・しごと創生本部を設置

平成 26 年 11 月

まち・ひと・しごと創生法制定

平成 26 年 12 月 27 日

「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定

平成 27 年 6 月 30 日

「まち・ひと・しごと創生基本方針 2015」を閣議決定

2 計画策定の趣旨・目的

人口減少の克服に向けては、“しごと”、“ひと”、“まち”の自立的かつ継続的な好循環の確立を図ることが必要である。安心して生活を営み、仕事に励み、消費を行うことができる平戸市を構築していくために、本市の持つ特性・魅力を活かし、人口、経済、地域社会の課題に一体的・持続的に取り組んでいくことを目的とする。なお、平戸市人口ビジョンを踏まえて策定する。

まち・ひと・しごと創生法（第10条抜粋）

- 1 市町村は、まち・ひと・しごと創生総合戦略（都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略が定められているときは、まち・ひと・しごと創生総合戦略及び都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略）を勘案して、当該市町村の区域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画（総合戦略）を定めるよう努めなければならない。
- 2 市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略は、おおむね次に掲げる事項について定めるものとする。
 - 一 市町村の区域におけるまち・ひと・しごと創生に関する目標
 - 二 市町村の区域におけるまち・ひと・しごと創生に関し、市町村が講ずべき施策に関する基本的方向
 - 三 前二号に掲げるもののほか、市町村の区域におけるまち・ひと・しごと創生に関し、市町村が講ずべき施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項

3 総合戦略の位置づけ

平戸市総合計画との整合を図りながら、まち・ひと・しごと創生法に基づき、今後5年間の地方創生に関する施策を戦略的に実行するための計画とする。

4 計画の期間

平成27年度から平成31年度までの5年間。

5 計画人口

平戸市人口ビジョンにおける将来展望を踏まえて、平成 31 年度の計画人口を設定

6 計画の基本目標

“しごと”、“ひと”、“まち”の自立的かつ継続的な好循環の確立を図るために 4 つの基本目標と設定する。また、平成 32 年度において、基本目標ごとに実現すべき成果（アウトカム）に関する数値目標を設定する。

雇用の促進

本市の特色を活かした新たな産業による雇用の促進

【数値目標（案）】

- 市内事業所従業員数
- 平戸市は働き続けることができる環境にあると思う人の割合（市民アンケート）
- 新卒者の地元就職率

産業の振興

地域資源を活用した賑わいのある魅力的な産業の振興

【数値目標（案）】

- 6 次産業事業所数
- 観光入込客数（年間）
- 平戸市は観光振興が図れていると思う人の割合（市民アンケート）
- 農林水産業就業者数
- 農林水産業生産額

子育て支援

子どもを産み、育てやすい環境の更なる充実

【数値目標（案）】

- 合計特殊出生率
- 平戸市は安心して結婚・妊娠・出産できるような環境・社会であると思う人の割合（市民アンケート）
- 年少人口数

定住・移住

まちの活気を取り戻すための若者定住・移住促進対策

【数値目標（案）】

- これからも平戸市に住み続けたいと思う人の割合（市民アンケート）
- 平戸市は「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができていると思う人の割合（市民アンケート）
- 社会増減数（人数）
- 県外からの移住者数
- 県外からの移住世帯数

第2章 施策の方向性

基本目標（政策分野）ごとに、計画期間のうちに実施する施策を検討し、盛り込む。

すべてが新規の施策である必要はなく、これまでに既に実施されてきている施策であって効果の高いものが含まれる点については差し支えない。

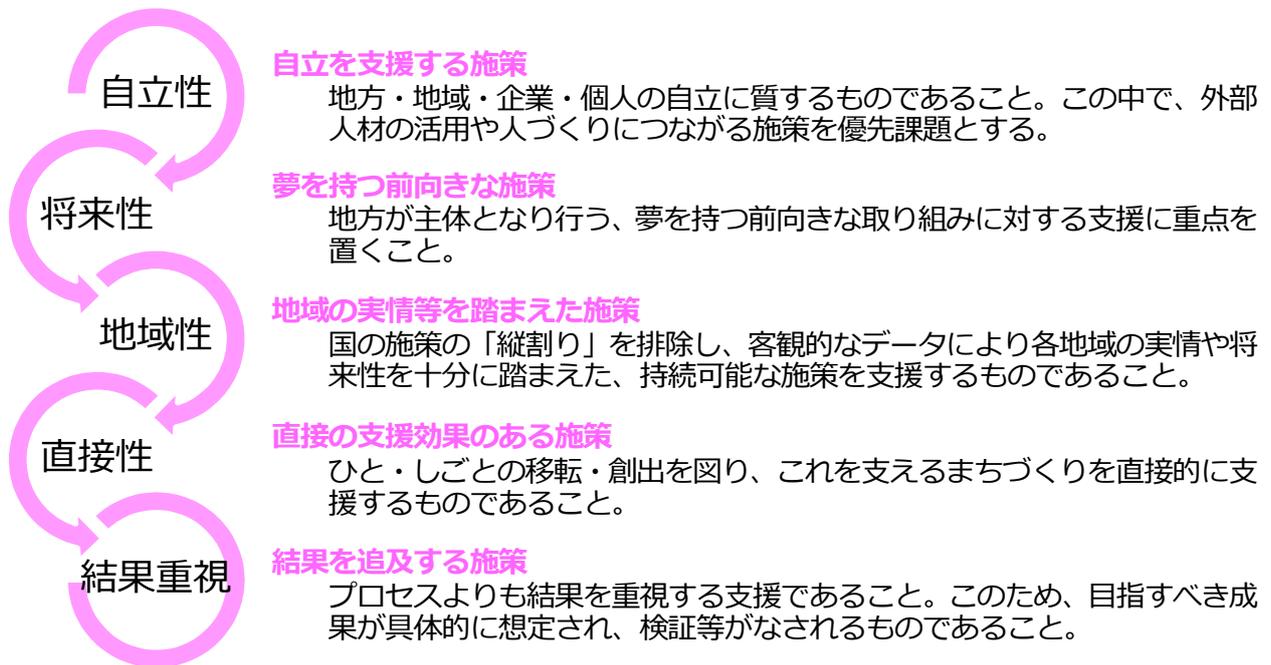
また、基本目標の下に盛り込む具体的な施策については、それぞれに対して、客観的な重要業績評価指標（KPI）を設定する。

重要業績評価指標（KPI : Key Performance Indicator）

施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。

なお、国の総合戦略に盛り込まれた「政策5原則」（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）の趣旨を踏まえて、効果的に施策を推進する必要がある。

まち・ひと・しごと創生 5原則



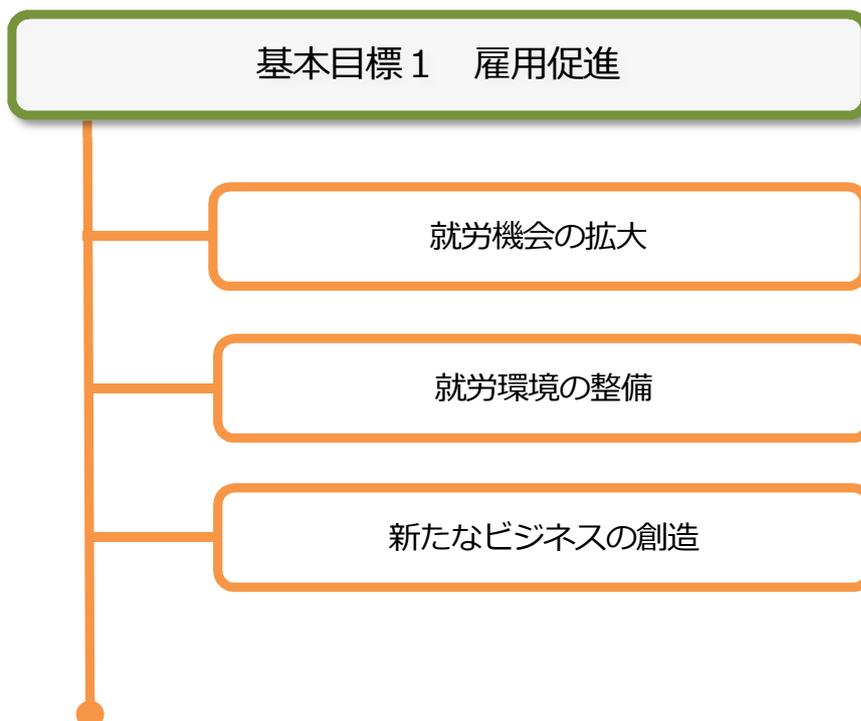
基本目標 1 雇用促進

コミュニティビジネスといった地域に根差した新たな産業の振興を支援し、若者が魅力を感じる雇用環境及び就業環境の整備に努めるとともに、**本市で暮らす市民のニーズに応えた企業誘致**を推進し、雇用の安定と**拡大**を目指します。

また、リタイア後の高齢者がスムーズに就業できるよう、関係機関と連携し相談・支援体制の構築を図ります。

数値目標

	H31 目標値	H27 基準値
市内事業所従業員数	人	()
平戸市は働き続けることができる環境にあると感じる市民の割合	%	()
新卒者の地元就職率	%	()
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		()
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		()



ア) 就労機会の拡大

- 事業所等と求職者のマッチングの機会を創出し、市内での安定した就労ができる仕組みづくりを推進します。
- 若者やUターン・Iターン者に向けた就労支援を行い、求職者と企業とのミスマッチ解消に取り組みます。
- 高齢者の就労機会の拡大に努めます。

【重要業績評価指標（KPI）】

	H31 目標値	H27 基準値
ハローワークを通じた新規就職者数	人	()
30歳未満の市民で、市内に就職している人の割合	%	()

【具体的な事業】

- 介護職人材確保支援事業【H27】
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○

イ) 就労環境の整備

- 行政と事業所の協働により、市内で働きやすい環境づくりを推進します。
- 企業誘致を推進し、雇用の安定化を図ります。

【重要業績評価指標（KPI）】

	H31 目標値	H27 基準値
働ける場所の豊富さに対する満足度（市民アンケート）	%	()
年平均平戸市有効求人倍率	倍	()

【具体的な事業】

- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○

ウ) 新たなビジネスの創造

- 空き店舗の活用や 6 次産業化の支援を行い、市の既存資源を活用した新たな雇用の創出を推進します。
- 平戸市で新たに創業したい人に対する支援を行い、新たな産業の創出を図ります。

【重要業績評価指標（KPI）】

	H31 目標値	H27 基準値
年間起業数	件	()
空き店舗等活用促進事業の実施件数	件	()

【具体的な事業】

- 協働によるまちづくり支援事業（コミュニティビジネス支援）
- 空き店舗等活用促進事業
- 中小企業振興対策事業（振興資金保証料率差率補填補・製造業設備投資促進事業補助金）
- 6次産業化推進事業
- 創業支援対策事業

基本目標 2 産業振興

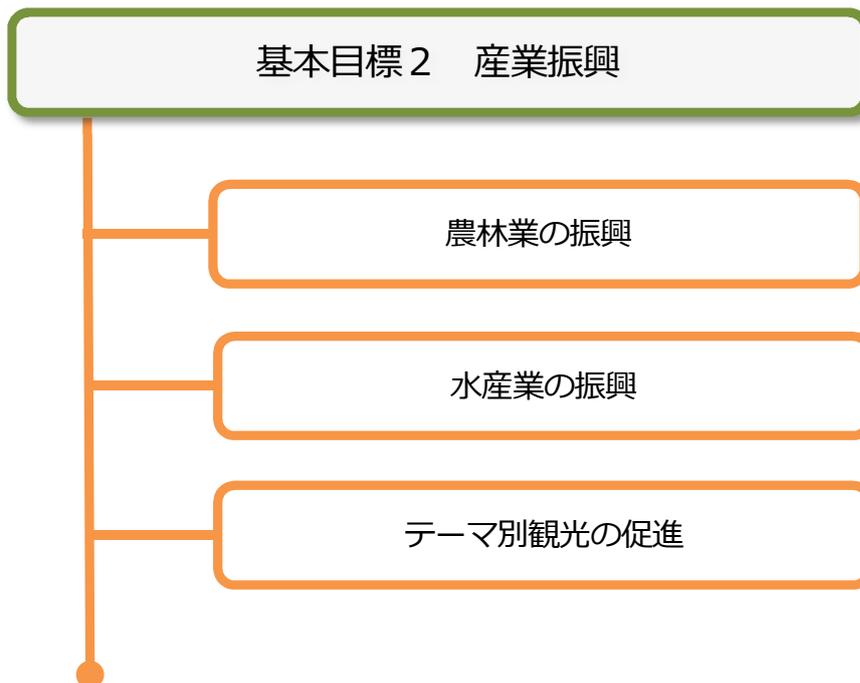
本市の中心的産業である農林水産業の振興を図るための施策を展開するとともに、6次産業化の促進にも注力し、市のブランド力の向上を目指します。

また、本市で起業をしたい人への支援を行うとともに、様々な分野における人材育成を推進します。

さらに、本市の強みである豊かな観光資源を活用し、観光産業分野の更なる発展を目指します。

数値目標

	H31 目標値	H27 基準値
6次産業事業所数	事業所	()
観光入込客数（年間）	人	()
平戸市は観光振興が図れていると思う市民の割合	%	()
農林水産業就業者数	人	()
農林水産業生産額	千円	()



ア) 農林業の振興

- 新規就農者や農業後継者支援の整備を行い農業の育成環境の強化を図り平戸式もうかる農業支援事業の目的を達成**します**。
- 園芸品目における生産者自らが取り組む販路開拓及び規模拡大による所得向上を図るため施設整備及び機械導入等に対する助成を行い販路拡大を支援**します**。
- 繁殖及び肥育農家の増頭対策、繁殖農家の維持更対策支援を行い生産体制の強化と安定経営を図る。また、新規肥育経営の負担軽減の策を図り平戸牛の安定供給につな**げます**。
- 中山間地域の農村集落の機能維持及び環境整備に対する取組みを充実させ**ます**。
- 農地の機能を向上、および間伐等の森林整備及び作業道路の整備を行い、生産性の向上につな**げます**。

【重要業績評価指標（KPI）】

	H31 目標値	H27 基準値
新規就農者人数（その他雇用等）	24人(22人)	()
肉用牛生産額	822,500千円	()

【具体的な事業】

- 平戸式もうかる農業実現支援事業【H27、3号補正】
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○

イ) 水産業の振興

- 後継者、U I ターン者の漁業就業を円滑に推進するため、受入窓口となる「平戸市担い手確保支援協議会」を通じた就業支援の整備、強化を図ります。
- 平戸水産物の販売における品質保持や流通改善により、水産物の付加価値向上や雇用創出につながるような販売体制を築きます。
- 生産手段確保として漁港施設の集約化及び機能改善により操業にかかる環境整備を強化し、漁船の機能を最大に発揮できる仕組みづくりを行います。

【重要業績評価指標（K P I）】

	H31 目標値	H27 基準値
沿岸漁業における新規就業者数	10 人／年	()
各漁協による販売事業総取扱高	50 億円／年	()
漁船数の確保	○隻	()

【具体的な事業】

- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○

ウ) テーマ別観光の促進

- 四季を通じ、来訪する観光客のニーズにあわせた観光ルートや体験メニューを整備**します**。
- 世界遺産を契機にさらに増えつつある外国人観光客受入体制を整備し、誘客を**図ります**。
- スマートフォンを利用する観光客に対し、SNSを活用した観光情報の発信を**行います**。
- 老朽化した観光施設のリニューアル化や観光客に対する2次交通対策を**講じます**。

【重要業績評価指標（KPI）】

	H31 目標値	H27 基準値
年間宿泊客数	人	()
年間外国人宿泊客数	人	()

【具体的な事業】

- 交流人口拡大に向けた平戸観光振興事業
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○

基本目標3 子育て支援

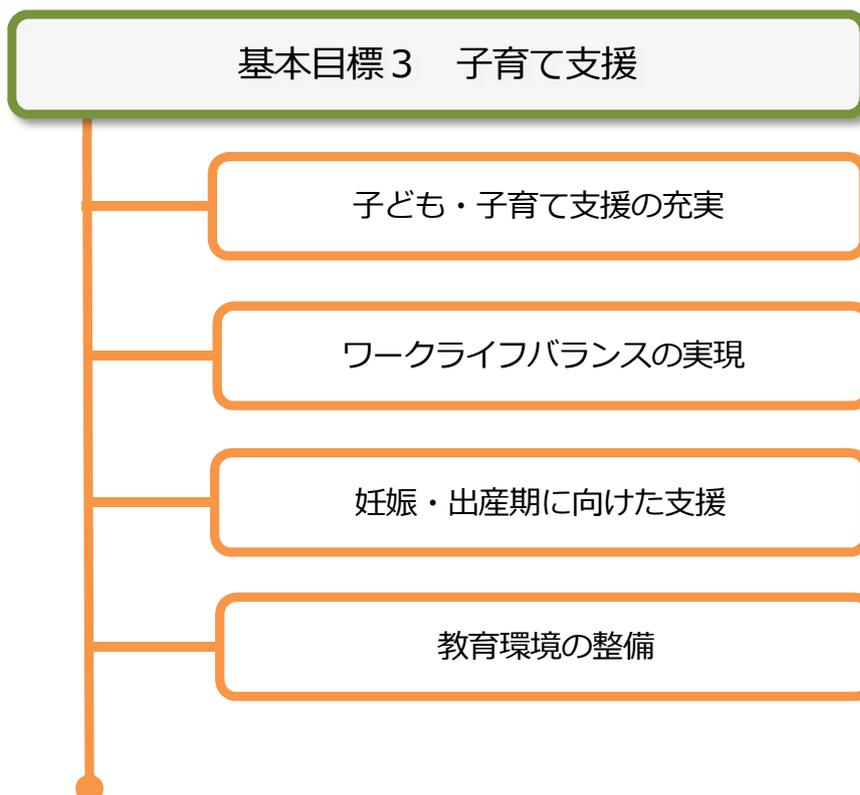
核家族化の進行や共働き世帯の増加といった社会構造の変化により、子育て世帯のニーズは多様化しています。

本市では結婚、妊娠、出産、育児といったそれぞれの段階ごとに切れ目のない支援をと、地域で子育てを支える仕組みをつくり、若い世代から出産・育児をここでしたいと思われるまちを目指します。

また、労働環境の改善により家庭と仕事の両立を図り、恵まれた自然環境の下で伸び伸びと子育てができる環境作りに努めます。

数値目標

	H31 目標値	H27 基準値
合計特殊出生率		()
平戸市は安心して結婚・妊娠・出産できるような環境・社会であると思う市民の割合	%	()
年少人口数	人	()



ア) 子ども・子育て支援の充実

- 多様化する市民の保育ニーズに対応するために、子育て支援サービスの更なる充実を推進します。
- 子育て世帯の様々な不安や悩みを解消するために、相談支援体制や各種施設の充実を図ります。

【重要業績評価指標（KPI）】

	H31 目標値	H27 基準値
子どもを育てるための環境の良さに対する満足度 (市民アンケート)		()
待機児童ゼロ	継続	()

【具体的な事業】

- 福祉医療給付事業（児童）【H27】
- 保育所入所児童保護者負担金【H27】
- 放課後児童クラブ施設整備事業【H27】
- 幼児健康診査事業【H27】
- 子育て支援事業【H27】
- 予防接種事業【H27】
- 多子世帯保育料軽減事業【H27、1号補正】
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
-

イ) ワークライフバランスの実現

- 男女がお互いの人権を尊重し、それぞれの個性と能力を生かしながら、あらゆる活動に参画できる社会の実現を目指します。
- 仕事と家庭を両立することができるよう、保育環境の整備や職場復帰への環境づくり、適正な就業時間の遵守等について、市民や事業所等への啓発を行います。

【重要業績評価指標（KPI）】

	H31 目標値	H27 基準値
育児休暇を取得した割合（市民アンケート）	%	()
父親が家事に携わった時間（市民アンケート）	1日平均 時間	()

【具体的な事業】

- ○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○
- ○○○○○○○○○

ウ) 妊娠・出産期に向けた支援

- 各種健診事業や相談事業等を実施し、安心して子供を産み、育てることができる環境づくりを行います。

【重要業績評価指標（KPI）】

	H31 目標値	H27 基準値
安心して結婚・妊娠・出産できる環境にあると思う人の割合（市民アンケート）		%

【具体的な事業】

- 安心出産支援事業【H27】
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○

工) 教育環境の整備

- 子育てや教育の悩みを解消するために、相談支援体制の整備を推進します。
- ICT 教育や英語教育について市独自の取組みを行い、実践的な学習を充実させることにより、子どもの基礎学力向上を図ります。
- 平戸市で生活する子どもたちが、故郷を愛する心を育むことができるよう、地域と連携・密着した学習機会の拡充を図ります。

【重要業績評価指標（K P I）】

	H31 目標値	H27 基準値
子どもに教育を受けさせるための環境の良さに対する満足度（市民アンケート）	%	()

【具体的な事業】

- ICT教育推進整備事業【H27】
- 絵本はじめましてブックスタート事業【H27】
- 公民館土曜学習事業【H27】
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○

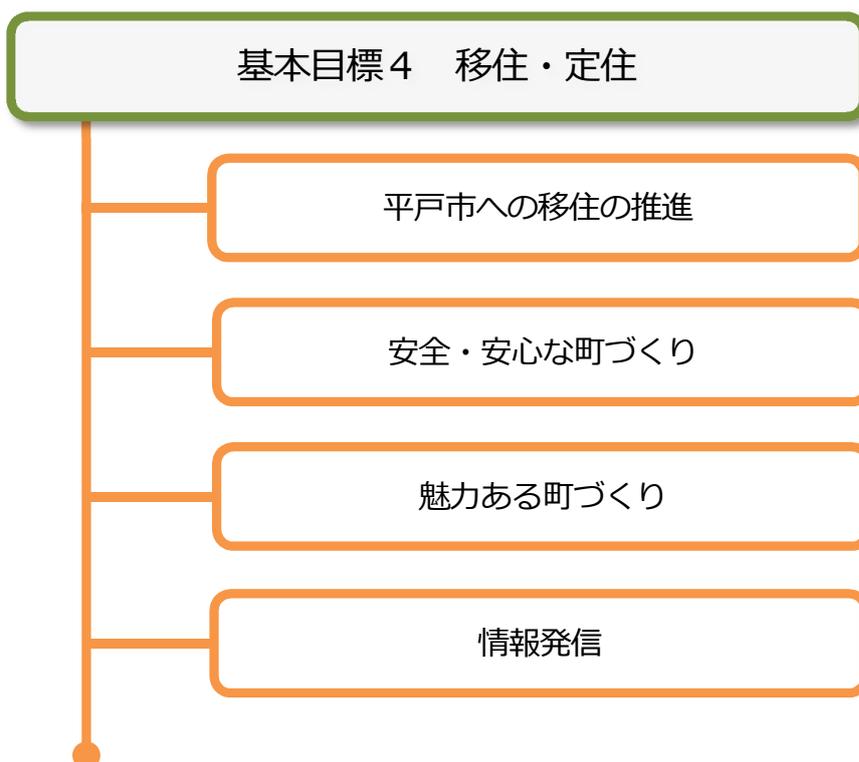
基本目標4 定住・移住

安心して快適に暮らすことができる環境の整備に努め、Uターン及びIターンを希望している世帯の希望に沿うことができる、魅力的なまちづくりを推進します。

また、田舎暮らし希望者への定住に向けての情報発信や移住者の誘致活動といった、田舎暮らし希望者への積極的なアプローチを行います。

数値目標

	H31 目標値	H27 基準値
これからも平戸市に住み続けたいと思う市民の割合	%	()
平戸市は「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができていると思う人の割合	%	()
社会増減数	人	()
県外からの移住者数	人	()
県外からの移住世帯数	世帯	()



ア) 平戸市への移住の推進

- 移住を検討する若者、子育て世帯、Uターン・Iターン希望者に、移住先として平戸市を選んでもらえるよう、様々な支援策や市独自の事業を展開します。
- 住宅の確保がしやすい仕組みづくりを行います。
- 住居の確保や生活環境の整備を推進し、誰もが住みよい環境づくりを行います。
- 市外の人との交流促進に関する事業を行い、結婚対策に関する取組みを推進します。

【重要業績評価指標（KPI）】

	H31 目標値	H27 基準値
空き家バンク（仮称）登録数		()
婚活支援による結婚成立数		()

【具体的な事業】

- 移住定住環境整備事業【H27】
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○

イ) 安全・安心な町づくり

- 行政と地域が連携して、様々な地域課題の解決に向けた取組みを協働して行うことができる仕組みづくりを行います。
- 多様な交通手段の確保や買物弱者への支援を行い、日常生活について誰もが利便性を感じるまちづくりを行います。
- 防災施設の整備や避難体制の充実、自主防災組織の活動強化等により、防災対策の充実に向けた取組みを推進します。

【重要業績評価指標（KPI）】

	H31 目標値	H27 基準値
防災訓練実施件数	件	()
自治会への加入率	%	()
公共交通機関や道路など交通の利便性の高さに対する満足度（住民アンケート）	%	()

【具体的な事業】

- 地域情報化基盤整備事業【H27】
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○

ウ) 魅力ある町づくり

- 地域活動の担い手づくりや場づくりを推進し、郷土愛を持ってまちづくりに参画することができる、次世代を担う若者の育成を推進します。
- 平戸市の豊かな自然環境の保全に関する取組みを充実します。また、自然環境の保全に関する住民の意識の向上に努めます。

【重要業績評価指標（KPI）】

	H31 目標値	H27 基準値
自然の豊かさに対する満足度（住民アンケート）	%	()
地域のつながりの強さに対する満足度（市民アンケート）	%	()

【具体的な事業】

- 地域おこし協力隊導入事業【H27】
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○
- ○○○○○○○○

第3章 計画の推進

1 推進体制

地域住民との協働を基本に取り組みを推進。

2 国・県・近隣市町村との連携

国・県を行う地域連携施策の活用や施策レベルでの近隣市町村との広域連携の考え方についてとりまとめる。

3 効果検証の仕組み（PDCAサイクル）

政策の進捗状況については、重要業績評価指標（KPI）で検証し、改善する仕組み（PDCA サイクル）を確立する必要がある。

PDCAシートの活用

- ・ 総合戦略で計画したことが実行されているのか
- ・ 施策や事業のKPIの達成は可能か

施策間連携の確認

- ・ 関連する施策が有機的な連携となっているのか
- ・ 取り組みが広く広がる形になっているのか

KPI達成度の確認

- ・ どこまで進んでいるのか
- ・ その道筋は正しいのか
- ・ 新たな仕組みは必要ないのか